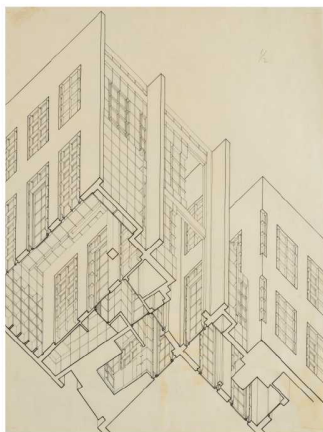


本展の見どころ

- ◆ 1970年代から90年代にかけて建築系雑誌の誌面を飾った建築ドローイングの実物を展示！

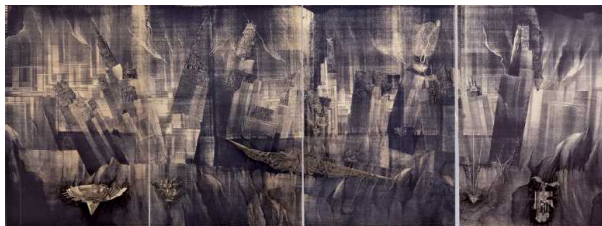


②竹富島自立宇宙茶羅 / 象設計集団蔵



③宮田邸
藤井建築研究室蔵

- ◆ 毛綱毅曠による屏風「建築古事記」全7作品を特別展示！（※会期の前半と後半で展示替えを行います。）



④建築古事記 / 毛綱毅曠建築事務所蔵

- ◆ 磯崎新、原広司、高松伸、藤井博巳の各氏が自身の建築ドローイングについて語る映像を展示。
- ◆ 本展示が初公開となる建築資料を多数紹介。

ゲストキュレーター

戸田穰（とだ・じょう / 金沢工業大学准教授）

朽木順綱（くちき・よしつな / 大阪工業大学准教授）

日笠直彦（ひの・なおひこ / 建築家、芝浦工業大学非常勤講師）

元岡展久（もとおか・のぶひさ / お茶の水女子大学准教授）

シンポジウム 植田実 × 中谷礼仁

出展建築家と同世代であり、雑誌『都市住宅』を初めとした建築メディアで活躍する編集者・植田実氏と建築史家の中谷礼仁氏（早稲田大学教授）を迎え、「建築ドローイングと日本建築 1970s-1990s」と題して、お話を頂きます。

2017年12月2日（土）14:00～16:00

司会：戸田穰

会場：建築家会館 大ホール

定員：120名（当日先着順・参加費無料）

ギャラリートーク

展覧会会期中に特別ゲストと本展ゲストキュレーターによる計4回のギャラリートークを行います。

※出演者は都合により変更する場合があります。

1. 「建築ドローイングの時代」

2017年11月4日（土）14:00～

塚本由晴（アトリエ・ワン、東京工業大学教授）

2. 「Possibilities on Papers 紙の上の可能性」

2017年12月17日（日）14:00～

ケン・タダシ・オオシマ（ワシントン大学准教授）

3. 「毛綱毅曠とその時代」

2018年1月20日（土）14:00～

藤塚光政（写真家）

× 難波和彦（当館主任建築資料調査官、東京大学名誉教授）

4. ゲストキュレーターによる作品解説

2018年1月27日（土）14:00～

展覧会カタログ

展示作品の図版、作品解説とともにゲストキュレーターによるテキスト等を含んだカタログを展覧会場にて無料配布致します。

広報用図版

図版①～④を広報用にご提供致します。ご希望の方は、使用条件をご確認の上、下記までお申し込みください。

Email: nama@mext.go.jp

【使用条件】

※広報用図版の掲載には各図版のキャプション、クレジットを必ず表示してください。

※情報確認のため、校正用原稿を事前にお送りください。